

はぐくみ実践ワーク集



奈良っ子のはぐくみを実践する保育施設の
園長先生にお話しいただいたインタビュー動画や、
読者であるあなた自身の
はぐくみの可能性を探るワークシートをご用意しました。
見て、聴いて、考えて、手を動かして、
あなた自身の保育に生かせるような
問いや気づきに出合ってください。

はぐくみの実践を覗いてみよう!



はぐくみの実践に取り組む2つの園の保育を覗いてみましょう。それぞれ園長さんにお話を伺ったインタビュー動画も制作しました。現場の声や取組から、あなたの保育のヒントを見つけてください。

奈良文化幼稚園(幼稚園型認定こども園)



奈良文化幼稚園は、奈良県葛城市にある学校法人奈良学園グループの幼稚園型認定こども園です。広々とした園庭、豊かな自然との触れ合いのなかで、のびのび遊び、また、心身共に調和の取れた人間としての基盤を培う保育に取り組んでいます。



インタビューした人: 角田道代 園長

子ども自身が心と体の状態を見つめ、意思決定できる環境づくりは、子どもの姿に合わせて変化していくものではないでしょうか。安心して何度でも試行錯誤できる環境をつくるための工夫を、一緒に考えてみましょう。



インタビュー動画はこちら

奈良県葛城市疋田687番地 <https://www.narabunka.ac.jp/kindergarten/>

森のようちえんウィズ・ナチュラ(認可外保育施設)



森のようちえんウィズ・ナチュラは、年間を通して四季折々の豊かな自然のなかで子どもの主体性を大切にしたい保育活動をしています。奈良県天理市の自然豊かな高原地域を拠点に、地域とも交流しながら、持続可能なコミュニティづくりを目指して活動しています。



インタビューした人: 岡本麻友子 代表

自然には子どもの感性と創造性を刺激し、心身の成長を促す力があります。自然の力を上手に活用することで、子どもが自分のなかの可能性に目覚めていくプロセスを信じて「待つ保育」と、一歩踏み出してみませんか。



インタビュー動画はこちら

奈良県天理市山田町638-1 <https://www.withnatura.com/>

やってみよう!

環境設定編

環境設定の事例を参考にしながら、子どもの姿に合った保育環境を描いてみましょう。
あなたなら、子どもを取り巻く環境に対して、どのような願いを込めて、どのような工夫ができるでしょうか?

○あなたが見たい子どもの姿

次の3つをイメージして、それぞれを箇条書きにしてみましょう。

1. 自然保育、食育、芸術のいずれかの場面で、あなたが見たいと思う「子どもの姿」をイメージしてください。
2. その姿は、どのような場所で見られますか? 具体的に考えてみましょう(例: 屋外、園庭、砂場エリアなど)。
3. そこには、どのような道具や人の関わりがありますか?



15・16ページを参照してね



○イメージされる環境と工夫

その姿が生まれている環境(風景)を絵で描いてみましょう。
また、そこで工夫できそうな環境設定(道具、人、時間など)を、箇条書きにしてみましょう。

Point

子どものどんな姿を引き出したいですか?
例をヒントに、工夫できるポイントを
考えてみましょう。

例 自由に創作する姿を引き出したい場合

- ・子どもが道具を自由に出し入れできるように、ラベルや色でわかりやすくカテゴリーごとに分類、小分け収納してみる。
- ・創作エリアが広ければ、造形やものづくりの試行錯誤がしやすくなります。

例 集中して学ぶ姿を引き出したい場合

- ・座るエリアと動くエリアを分け、座って集中する場所を静かなエリアとしてゾーニングすると共に、ルールを共有しましょう。
- ・部屋の片隅を棚などで区切って、集中できるエリアをつくってみましょう。
心を落ちつける際にも活用できるかもしれません。





エピソードの事例を参考にしながら、子どもの姿に合った学びの引き出し方を描いてみましょう。あなたなら、子どもの姿から、どのような関わり方の工夫ができるでしょうか？

ー ワークシートの使い方 ー

- ① 良い学びの機会につながったと思う「場面」を思い出して、ラフスケッチや箇条書きで描いてみましょう。状況がわかるように、子どもの表情やあなたのかけた言葉なども入れてみましょう。
- ② その場ではどんな学びが起こっていたでしょうか。さまざまな「解釈」から振り返ってみましょう。
- ③ そこで実現したかった学びを引き出すためには、ほかにどんな「対応」の仕方があったのか、次に生かしたいことを可能性として書き出してみましょう。

書き込みの例

場面

おかわりをしたい子に、「自分が食べられるぶんを入れようね」と伝えたら、ごはんの量を意識するようになった。



解釈

自分で茶碗にごはんをよそうことで、食べる量をお腹のすき具合に合わせて自分で調整していける機会をつくれたように感じる。

対応

「みんなで給食を楽しむために、ほかの子がおかわりすることも考えてよそおうね」と伝えたら、自分の満足だけでなく、一緒に給食を楽しむ友達への配慮や思いやりも育つかもれない。

場面

解釈

対応

やってみよう!

エピソード編

20・21・27・28・34・35ページを参照してね



エピソードの事例を参考にしながら、子どもの姿に合った学びの引き出し方を描いてみましょう。あなたなら、子どもの姿から、どのような関わり方の工夫ができるでしょうか？

ー ワークシートの使い方 ー

- ① 良い学びの機会につながったと思う「場面」を思い出して、ラフスケッチや箇条書きで描いてみましょう。状況がわかるように、子どもの表情やあなたのかけた言葉なども入れてみましょう。
- ② その場ではどんな学びが起こっていたでしょうか。さまざまな「解釈」から振り返ってみましょう。
- ③ そこで実現したかった学びを引き出すためには、ほかにどんな「対応」の仕方があったのか、次に生かしたいことを可能性として書き出してみましょう。

書き込みの例

場面

おかわりをしたい子に、「自分が食べられるぶんを入れようね」と伝えたら、ごはんの量を意識するようになった。



解釈

自分で茶碗にごはんをよそうことで、食べる量をお腹のすき具合に合わせて自分で調整していける機会をつくれたように感じる。

対応

「みんなで給食を楽しむために、ほかの子がおかわりすることも考えてよそおうね」と伝えたら、自分の満足だけでなく、一緒に給食を楽しむ友達への配慮や思いやりも育つかもれない。

場面

解釈

対応

やってみよう!

ひとつの姿編

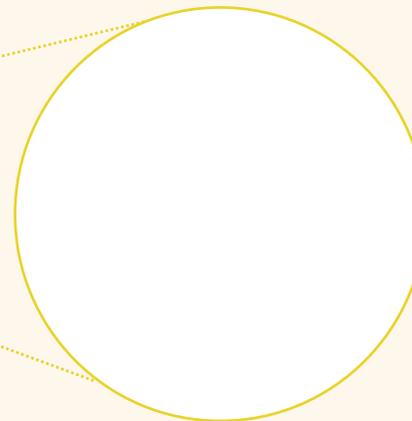
22ページを参照してね



22ページで紹介した「ひとつの姿」の事例を参考に、日常の保育のなかにある、子どもの「ひとつの姿」に着目して、いくつかの解釈や選択肢がないかを考えてみましょう。

『ひとつの姿』

ZOOM UP!



A

.....
〈学びの可能性〉

B

.....
〈学びの可能性〉

C

.....
〈学びの可能性〉

— ワークシートの使い方 —

- ① 思い浮かぶ「ひとつの姿」を、絵や文字で描いてみましょう。
- ② 描いた「ひとつの姿」から想像される子どもの状況を、ABCの欄それぞれに絵や文字で書き込みましょう。
- ③ ABCに対し、どのような学びの可能性があるか、考えて書き込んでみましょう。それが次の手立てのヒントになるはずです。

おわりに

未来ある奈良っ子へ日々寄り添うあなたに心から感謝します。

保育は楽しいことばかりではないかもしれません。

それでも、あなたの存在は子どもにとってなくてはならないものです。

子どもの秘めたる可能性のために、あなたの保育の可能性を信じて、

未来につながる「ひとたね」を植えてほしいと、切に願っています。



コンセプト動画もあるよ!

「ひとたね」は奈良県公式HPよりダウンロードできます。

「ひとたね」
コンセプト動画



「ひとたね」
奈良県公式HP



本ワークブックの制作にあたり、検討会の皆さまには、数多くの有益なご助言をいただきました。深く感謝いたします。また撮影やアンケート、インタビュー調査にご協力いただいた保育施設の皆さまにも、心より御礼申し上げます。

検討会メンバー(50音順 敬称略)

奈良県保育協議会 教育・保育内容研修委員会 委員長 岩本博子
森のようちえんウィズ・ナチュラ 代表 岡本麻友子
奈良県私立幼稚園連合会 会長 清川かつ美
自然食品店「五ふしの草」店主 榊原一憲
畿央大学現代教育学科 准教授 永瀨泰一郎
上越教育大学大学院学校教育研究科 教授 野口孝則
なら歴史芸術文化村 主査 松長大樹
奈良県保育協議会 副会長 美馬貴子

令和6年3月第1版発行

発行：奈良県 地域創造部 こども・女性局 こども保育課

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30 TEL:0742-27-8733

監修：芸術・自然保育・食育を活用した就学前の子どものはぐみ推進事業 検討会

企画プロデュース：TOPPAN株式会社

企画・制作：株式会社SPACE

編集：合同会社imato

デザイン・イラスト：大原麗加

動画：川嶋鉄工所

音楽：宮内優里



©奈良県

本ワークブックの無断転載、複製、複写(コピー)、翻訳、許可のない無断使用等は禁じられています。